

国民年金制度について

本会の見解を発表

昨年米「国民年金制度」樹立の動きが活潑になり、先般の総選挙においても、保守、革新を問わぬ公約として叫ばれていた。特に昨年五月岸首相は、社会保障制度議会（首相の諮問機関・大内兵衛氏）に「国民年金制度の基本方策について」諮問をおこない、審議会ではそれに答え、国民年金特別委員会を設けて検討をおこなってきた。

その問い合わせと意見が出され同審議会の検討結果が各方面から注目されており、去る六月七日総会を開き、「国民年金制度についての答申案」を決定し、新内閣の成立をまって正式に答申することになった。

国民年金制度については、本会もかねてから重視して、社会保障制度研究特別委員会を中心として、昨年以上に具体的になってきた。

（委員長長嶋元雄専任幹事）を強化するとともに、要望書を提出するなど、本会の動きも特別委員会を中心に昨年以上に具体的になってきた。

長崎の原爆患者に千羽鶴

(尾道支部=広島) 全国的に呼びかける



原水爆禁止の願いをこめた千羽鶴を送り長崎の原爆患者を激励する運動を尾道支部(広島県)でおこなっているが、これを全国的に展開しようと呼びかけている。

原水爆禁止はかねてから活動の原に訴えられたが、これを全国的に展開させるため反

原水爆禁止の願いをこめた千羽鶴を送り長崎の原爆患者がおこなつことになり、尾道十四日町尾道中華街、はまゆり園の生徒たるときに毎月十六日午後六時半頃に原水爆禁止の会員はこの運動を始めると同時に、千羽鶴を折り長崎の原爆患者に送り、原爆患者は喜んでおり、その運営を始めた。

原水爆禁止の願いをこめた千羽鶴を送り長崎の原爆患者がおこなつことになり、尾道十四日町尾道中華街、はまゆり園の生徒たるときに毎月十六日午後六時半頃に原水爆禁止の会員はこの運動を始めると同時に、千羽鶴を折り長崎の原爆患者に送り、原爆患者は喜んでおり、その運営を始めた。

"アジア青年親善の集い"

青年団体が協力して招く

アシア青年親善の集い

国連劇入選作上演劇園がすわらじ

7月1日

開幕

7月1日